

	中間経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標（☆は取組指標，★は成果指標）	中間（10月）		最終（3月）		結果と課題の分析					
					指標評価	評価	指標評価	評価						
確かな学力（知）	「主体的、対話的で深い学び」を実現する授業の質を高めることにより、これからの社会で活躍することができる生徒を育成する。	学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の確実な定着のための学習 質の高い課題の選択と家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ★生徒アンケート「毎日の授業内容が理解できています。」を90%以上にする。 ★全国学力・学習状況調査及び三次市学力到達度検査において全学年の各教科平均値を全国平均以上にする。 ★課題の提出率を90%以上にする。 										
		活用力の向上 生徒が主体的に学ぶ授業	<ul style="list-style-type: none"> 「課題発見・解決学習」の質を高める授業の研究 中学校英語授業の効果的な指導方法（5ラウンドシステム）等に関する実践的研究 防災（河川）学習を中心としたカリキュラムマネジメントの推進 ICTの有効活用 組織的・計画的な授業研究（一人一研究授業） 	<ul style="list-style-type: none"> ★生徒アンケート「授業では、解決しようとする課題について、『なぜだろう』『やってみよう』とします。」を90%以上にする。 ★英語科の5ラウンドシステムを実施する学級でのアンケートにおいて「英語の授業では、原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合っています。」80%以上 ☆防災学習について、各教科等の指導内容を教科横断的な視点で組み合わせ、カリキュラムマネジメントをすすめる。 ★職員アンケート「昨年度よりICTの使用頻度が高まった。」を90%以上にする。 ☆一人一研究で、課題発見・解決学習を進める授業研究をする。授業交流週間で互いの授業を参観する。 										
豊かな心（徳）	集団の力を高め、豊かな感性と行動力のある生徒を育成する。	生徒指導上の諸課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な対応を見据えた積極的生徒指導の推進 生徒が安心して過ごすことのできる環境整備 生活意識アンケート・デイリーライフ・班長会等から生徒実態を把握し、面談とSCによるカウンセリングの実施 関係機関との積極的な連携 道徳価値の自覚を深める授業 	<ul style="list-style-type: none"> ★年間30日以上欠席がある生徒（不登校生徒）数を昨年度比50%以下にする。 ☆生徒アンケート・デイリーライフ・班長会等から生徒実態を把握し、面談とSCによるカウンセリングを実施する。 ★生活アンケート「自分のよさは、まわりの人から認められていると思いますか」を90%以上にする。 ★i-checkで、いじめのサイン・対人ストレスを標準スコア50以上にする。 ★「道徳科」では、「『道徳の時間』の勉強はためになると思う。」を90%以上にする。 										
		主体的な生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> 専門部会を中心とした課題発見・解決 いじめ0プロジェクトの継続・深化 思いやりの木の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ★生徒アンケート「あなたは、生徒会活動に真剣に取り組みましたか」を90%以上にする。 ★ボランティア活動への参加率を70%以上にする。 										
		基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携による三点固定（就寝時刻・起床時刻・家庭学習開始時刻）の取組 「ストップ9」の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ★三点固定の取組を行い、定着率を75%以上にする。 ★生活リズムチェックによる「ストップ9」の達成状況を70%以上にする。 										
健やかな体（体）	生活習慣の定着と体力の向上を図る。	基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくり計画による体育授業の実施 新体力テストの課題種目への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ☆体力づくり計画による体育の授業の実施をする。 ★新体力テストで、県平均以上の種目を70%以上にする。 										
		働き方改革を推進し、組織力を向上させ、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の推進 組織的な学校運営の強化 不祥事防止研修の充実 小中一貫教育の発展 地域力を生かしたカリキュラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ☆働き方改革について研修の機会をもち、業務改善が進んでいるか学期に1回振り返りを行い、改善を進めていく。 ☆不祥事防止研修は、主任や主事、学年会で担当を決め、計画的かつ主体的な研修にする。 ☆小中一貫教育推進協議会を中心に小中合同研修会を開催し、小中で統一した取組を行う。 ★地域探究学習後の生徒アンケートで「ふるさと甲奴に誇りをもっている」の肯定的評価を90%にする。 										
					指標評価・評価	a・A	b・B	c・C	d・D	e・E				
					基準	100%以上の達成度	80%以上100%未満の達成度	60%以上80%未満の達成度	40%以上60%未満の達成度	40%未満の達成度				
						十分に目標を達成できた	概ね目標を達成できた	ある程度目標を達成できた	あまり目標を達成できなかった	目標を達成できなかった				